

総合評価シート

評価対象年度 : 令和5年度

施設所管課 : 施設課

1. 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 日本キングス・ガーデン
所在地	茨城県常総市大生郷町1818-2
代表者	理事長 宇都宮 和子
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
業務内容	常総広域障害者支援施設の利用及び施設の維持管理に関すること。

2. 施設の概要

施設名	常総広域障がい者支援施設	該当年度中の開所日数	366日
所在地	茨城県常総市大生郷町1880	1日における開所時間	24時間
設置目的	構成市（常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市）障がいの生活介護及び入所支援を行うことを目的とする。		
主な設備	入居棟（居室60室・浴室・指導室・倉庫・トイレ等）、入居共用棟（医務看護室・配膳室・機械浴室・洗濯室等）、自立訓練室（事務室・応接室・創作活動室・機能回復訓練室・多目的活動室）交流ホール（キッチン等）		

3. 施設の利用状況

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	傾向と増減理由
入所者数 (年度末時点)	55人	56人	56人	人	満床のため変動なし。
短期入所者数 (延べ人数)	4人	249人	340人	人	7月より感染対策を緩和し通常の受入を再開。新規の利用者が少ない傾向があり、利用者数の増加は緩やか。
日中活動利用者数 (延べ人数)	16,862人	16,467人	16,492人	人	入居者+在宅利用者。 入居者は入院件数増により稼働率減だが、在宅利用者の増加により合計利用者数に大きな変動なし。
日中一時支援 利用者数 (延べ人数)	0人	0人	0人	人	希望者不在のため休止中。

4. 収支状況（管理運営業務）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計 (A)		415,290,000	413,416,191	-1,873,809	
項目	施設サービス 自立支援給付金	299,314,000	296,906,082	-2,407,918	入居者の入院件数増加のため
	施設サービス 利用者負担金	33,424,000	34,141,690	717,690	感染症検査費用発生等
	施設サービス その他事業	4,991,000	4,991,000	0	
	経常経費寄付金	30,000	30,000	0	
	受取利息配当金	3,000	2,568	-432	
	その他	294,000	572,252	278,252	
	人件費積立資産取崩	700,000	238,920	-461,080	
	前期末支払資金残高	76,534,000	76,533,679	-321	
	支出合計 (B)	320,943,000	327,696,037	6,753,037	
項目	人件費	221,859,000	225,788,083	3,929,083	賃金改定による昇給のため
	事業費	76,209,000	78,703,608	2,494,608	光熱費、給食費増額のため
	事務費	21,575,000	21,902,766	327,766	修繕費による支出
	積立資産費	1,300,000	1,301,580	1,580	
	予備費	0	0	0	
収支 (A) - (B)		94,347,000	85,720,154	-8,626,846	

【収支状況（管理運営業務）に関して指定管理者のコメント】

感染によるご利用者の入院や検査費用、又賃金改定や光熱水費、修繕費の経費があり予算通りではなかったが単年度収支としては良好でした。

4. 収支状況（自主事業）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計 (A)		350,000	352,006	2,006	
項目	自主事業収入	350,000	352,006	2,006	その他雑収入（自販機手数料）
	その他				
支出合計 (B)		60,000	51,622	-8,378	
項目	自販機電気代	60,000	51,622	-8,378	
収支 (A) - (B)		290,000	300,384	10,384	

【収支状況（自主事業）に関して指定管理者のコメント】

電気代は専用メーターの設置、稼働が7月頃となったため、決算額は平均値から算出しています。

5.項目別評価

1. 施設の管理運営		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 基本方針の確立	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立され、業務従事者は理解していたか。	B			B	2	
(2) 人員体制	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の管理運営に必要な人員が過不足なく配置されていたか。	B			B	2	
地元雇用の配慮はされていたか。						
業務の遂行に必要な知識、技能の習得、利用者サービス向上のための研修等は実施したか。						
(3) 連絡体制	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、各種書類等は遅延なく提出していたか。	B			B	2	
(4) 利用者数	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた目標を達成したか。	B			B	2	
(5) 記録管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用申請書、報告書その他書類を適切に作成・保管していたか。	B			B	2	
(6) 情報公開・個人情報保護	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
情報公開・個人情報保護の取り扱い、協定書に基づき適正に行っていたか。	B			B	2	
(7) 第三者委託	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
第三者への委託が適切な手続きで行われ、第三者が再委任することはなかったか。	B			B	2	
(8) 緊急時の対応	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事故、災害時等の緊急時対応マニュアルの整備や対応体制が確立されていたか。	B			B	2	
指定管理者 コメント	令和6年度より義務化となる災害発生時の事業継続計画（BCP）の策定を行っており ます。					
施設所管課 コメント	スキルアップ等の研修の実施や緊急時の対応体制が確立されており、利用者が 安心安全に生活できるような管理運営でありました。					

5.項目別評価

2. サービス向上の取組み		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価	
(1) 利用者対応	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
利用許可、予約等を公平かつ適切に行っていたか。 マニュアルが整備され、利用者への接遇は適切であったか。	B		B	2	
(2) 人権の尊重	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
利用者の人権を尊重し、関する研修等を職員に対し実施したか。	B		B	2	
(3) 利用者家族等への情報提供	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
利用者の家族等に対し、利用状況等の発信を適時行ったか。	B		B	2	
(4) 苦情等への対応	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
苦情や要望等の対応を、迅速かつ適切に行ったか。	B		B	2	
(5) 利用者調査	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
アンケート等の実施により、利用者満足度やニーズを把握し、サービス向上に活用していたか。	B		B	2	
(6) 連携業務	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
各関係機関及び利用者家族との連携は取れているか。	A	医療機関との連携で迅速な医療対応を行っています。各市と必要な手続きの実施、ご家族との連携で日常の課題解決に努めています。	A	3	
(7) 地域との連携	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
地域に根差した施設運営となるような取組みを行ったか。	B		B	2	
(8) 自主事業	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた自主事業を実施できたか。 利用者ニーズを踏まえた自主事業を実施したか。	B		B	2	
指定管理者コメント	感染対策の緩和を慎重に検討し、感染予防と利用者ニーズのバランスを調整しながらサービス提供を行いました。				
施設所管課コメント	利用者の健康管理のため、医療機関との連携を構築しており、また、家族への連絡も適宜行われている等安心できる環境が整っていました。				

5.項目別評価

3. 施設の維持管理		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 施設の点検・整備等	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
法令、業務基準等に従い、施設や設備の点検整備、保守管理等を行っていたか。	B			B	2	
(2) 施設の修繕	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、適切に修繕が実施されていたか。	B			B	2	
(3) 清掃・衛生管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
業務基準等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれていたか。	B			B	2	
(4) 植栽等の管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
業務基準等に従い、樹木・植栽等の美観が保たれていたか。	B			B	2	
利用者の安全に配慮した植栽管理はされていたか。						
(5) 備品の管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
備品を適切に管理し、また、備品台帳を整理していたか。	B			B	2	
年に1回以上、台帳と現物の照合を行ったか。						
(6) 環境への配慮	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
環境に配慮した製品の購入や、エネルギー使用量・廃棄物の削減に向けた取組みをしていたか。	B			B	2	
指定管理者 コメント	設備のメンテナンス実施、改善箇所を把握し修繕を進め、利用者が過ごしやすい環境の維持に努めています。					
施設所管課 コメント	入居者の特性を考慮した植物の植栽、適宜、施設の修繕を行う等、概ね適正な施設の維持管理がされていました。					

5.項目別評価

4. 収支状況		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 経理事務		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
指定管理業務に関する経費と自主事業に関する経費を区別して帳簿等を備え管理していたか。		B		B	2	
料金徴収（食費、光熱水費等の個人負担分）は適切に処理したか。						
(2) 予算執行		評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
サービスの維持・向上に留意した上で、効果的・効率的な予算執行が図られたか。		B		B	2	
指定管理者 コメント	会計事務は適正に行われ、感染対策緩和による短期入所の再開や物価高騰補助金の交付等により単年度収支は改善されました。					
施設所管課 コメント	適正な経理事務と判断しました。					

6. 総合評価

合計評点数	49 /72点	
総合評価	B	適正である
<p>【施設所管課からの講評】 業務基準等に則り、適正な管理運営を行っていました。特に、人材育成に注力し質の高い福祉サービスの提供を心がけていました。今後も引き続き利用者の満足度を高めるために良好なサービスの提供をお願いします。</p>		